

令和 4 年度第 1 回さいたま市花とみどりのまちづくり審議会
議題への意見提出シート

委員名 (土屋 一彬)

1 緑の基本計画の改定について 緑の基本計画全体の構成や内容についてご意見がございましたら記載をお願いします。
<ul style="list-style-type: none"> ● 本文 3 ページにあるように「機能」と「マネジメント」の2本柱が明確になったことで、より充実した構成になったと思います。ただ、この意欲的な計画が本当に展開できるのか、7 章の記述だけではやや不安に感じました。組織的な拡充も含めて実行体制が充実されることを望みます。 ● 本文 12 ページの生物多様性の記載ですが、ポスト 2020 生物多様性枠組みが 12 月に採択され、新しい生物多様性国家戦略も素案が出ている状況ですので、最新の状況に対応した記述をお願いします。
2 本市が目指す新たな公園像、緑地像について(資料3、4) 本市が目指す新たな公園像、緑地像及び、パークマネジメントの方向性や緑地づくりの考え方についてご意見がございましたら記載をお願いします。
<ul style="list-style-type: none"> ● 緑地像の「緑地づくりの考え方」の部分は、「パークマネジメントの方向性」に比べると、目標、取り組み、効果が混在していて理解が難しいと受け止められてしまうかもしれません。リーディングプロジェクト3のスキームを支えるような部分に絞って「考え方」をシンプルに整理出来ると良いのではないかと思います。 ● 新しい緑地像の実現のためには、これまで市で行われてきた様々な緑地施策の棚卸しを行うことが大事だと思います。マネジメントの点からすると、公園に指定管理や P-PFI という枠組みがあるのに対して、緑地はその点が明確ではないという違いがあります。緑地で市民や企業と連携した取り組みを推進していく観点から、どのように既存施策を活用し、アップデートしていくかの検討が必要に思います。
3 リーディングプロジェクトについて(資料5) リーディングプロジェクトの考え方や内容についてご意見がございましたら記載をお願いします。
<ul style="list-style-type: none"> ● 実施計画は、試行錯誤しながら進む面もあると思いますので、具体的な活動内容のスケジュールよりも、プロジェクトに共通する体制づくりのスケジュール(プラットフォームの立ち上げ時期、モデル地区での試行期間、その検証のタイミングなど)を軸に記載する方法もあり得ると思いますので、ご検討いただければ幸いです。 ● プロジェクト間の連携の仕掛けを埋め込んでおくことも重要だと思います。従来、行政では都市公園、緑化推進、緑地保全が別々に進められていた面もあったかと思いますが、社会問題の解決の観点からは、そうした制度的な区分で施策を展開することの弊害もあるかもしれません。取り組み間の統合のきっかけを作る役割もリーディングプロジェクトには期待されます。 ● 近年、温室効果ガス削減と生物多様性保全を両方に貢献する取り組みが注目されています。30x30 や OECM の流れも踏まえて、プロジェクト3において脱炭素と生物多様性保全を両立させる取り組みが出来れば先進的だと思います。
4 その他 資料全体(報告事項含む)について何かご意見がございましたら記載をお願いします。